

# evoltz ニュースレター

## evoltz採用ビルダー様 弊社ホームページ内に掲載いたします



最近、弊社に一般ユーザー様からのお問い合わせが急増しています。中には、どこの工務店で建てるかも決まっていないようなお客様からの引き合いも多くなっております。その方々をスムーズにevoltz採用工務店様につなげさせていただくべく、当社ホームページにて皆様の情報を充実した形で掲載させていただくことにしました。より深く掲載させていただくために、現在evoltzをご採用いただいている工務店/ビルダー様の元に弊社営業担当がお伺いし、インタビューをさせていただくというものです。多くの工務店/ビルダー様のお声を弊社WEBサイトに掲載させていただきますので、お施主様へのevoltzの提案の仕方や採用いただいたポイント、その他事例など、参考にしていただきたい内容で盛りだくさんになる予定です。もちろん、ご協力頂いた工務店/ビルダー様の基本情報や連絡先、公式HPへのリンクを貼らせていただきます。その結果、このページを見て「evoltzを自分の家にも入れたい」と思った方が、掲載ビルダー様にお問い合わせをされる可能性が高まります。皆様の多くの生の声を掲載することが、採用工務店/ビルダー様へのお問い合わせのアップにつながりますので奮ってご参加ください。弊社担当より適宜ご連絡を差し上げる予定です。その際には是非ご協力いただけると幸いです。また、「インタビューに協力してもいいよ！」という工務店/ビルダー様は、弊社担当までご連絡下さい。

## コロナウイルスの影響は？

## やっぱり体感が一番効果的!?

日本どころか全世界を巻き込んでいる新型コロナウイルスの感染問題。中国武漢での発生を機に、住宅業界でも中国製の出荷ストップによる影響で各工務店様や建材メーカー様が対応に追われていました。そして、3月にはヨーロッパ全域にまで広がり、ビルシュタイン社の本拠地であるドイツにも影響が出てきたようですが、evoltzの供給につきましては、皆様にご迷惑が掛からない体制づくりができており、日本国内に十分な在庫がございますのでご安心ください。



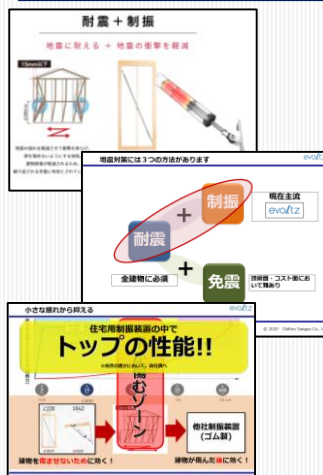
「evoltzの効果ってどれくらいですか？」言葉で表すことは大変難しいevoltzの効果。千博産業では、お施主様に制振装置の必要性、効果を実際に体感していただける装置を準備しております。この起振機のご購入をご希望される工務店様が非常に増えております。昨年度1年間で計20台の発注を承りました。弊社ショールームにもご用意しております。やぐらのプレカット図もご用意しております。気になる方はお気軽にご連絡ください。



## 富山試験時の映像公開！

## 新人研修にevoltzの講義を

弊社では「制振」の概念を確立し、「制振とは何か!？」ということをも明確に定義付けすることを旨とし、その実現にむけて、自社だけでなく、学界の有識者の方々とも協力しながら継続的に実験を実施しています。その実験の中で、今回は2018年に富山県農林水産総合技術センター 木材研究所にて行った比較実験の動画をご案内致します。この実験の結果、evoltzの有無により、構造体の揺れ幅の違い、また、構造体の傷み方の違いに明確な差があることが改めて分かりました。その様子を撮影した動画は右のQRコードからご覧いただけます。是非お施主様へのご提案の際にご活用ください。



新入社員の入社時期ですね。昨年多くの工務店様において実施させていただきました「evoltz勉強会」。中途入社されたスタッフ含め多くの方々にevoltzの良さを説明させていただきました。多くの種類の制振装置が販売されている中、御社において何故evoltzを採用しているのか？他の工務店と比較して何が優れているのか？お施主様にどう伝えればよいのか？今年もお役に立てるよう頑張ります。ご依頼お待ちしております。

# 今さら聞けない？ evoltzのFAQと基礎知識

今回はあらためてevoltzについてのよくある質問と、それに対する回答について特集させていただきます。もし皆さまの回答で認識が間違っていたり、逆にこういう説明の方が納得してもらえ、反応が良いなどあれば、ぜひ弊社担当までお教えください。

## Q：(お客様)「〇〇工務店さんではなぜevoltzを採用しているんですか？」

A：「evoltzは、**特許技術により、どの制振装置よりも速く効き、お客様の建物を、いつまでも守るからです。すなわち、建物の耐震性を維持(長持ち)させるからです。**」

現在国内では、30種類以上の制振装置が販売されている。性能については、それぞれが大きく異なる中、evoltzは最も速く小さな揺れから減衰を始めます。

## Q：evoltzは他の制振装置と何が違うのか？

A：■ **極めて小さな揺れから効く→バイリニア特性で特許取得**

①高層ビル用制振装置では普遍的性能。これを**一般住宅用に小型化するのが難しかったのを可能にしたのがevoltz。**

他社ゴム製制振装置では実現不可(大きな外力がかかると大きく効かないゴムの特性上)。

②地震発生時、家が大きく揺れだす前から効くので、**接合部を傷ませず、家の長寿命化に寄与。**

③地震によって家の外壁と内壁では外壁の方が大きく揺れる。では、**外壁で小さな揺れから効くevoltzと内壁で大きな揺れにならないと効かない他社装置ではどちらがいいか？**

■ 大きな減衰定数を持ち、**建物が共振※した際の揺れ幅を最小限に抑える。**

この共振の抑制は耐震工法のみでは防ぐことができません。他社製品のほとんどがこの共振対策を行っていません。

※地震の周期と建物の固有周期が一致した場合に発生する現象。揺れに従って振幅が次第に増加していき、倒壊につながる。

■ 施工性が抜群

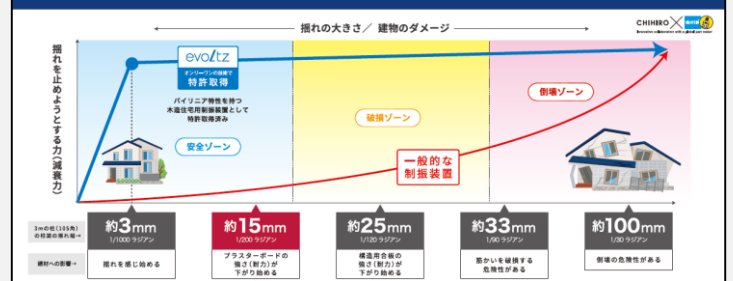
①制振ダンパー1本に対してビスの本数が16本と非常に少なく、**施工が簡単で1~2時間程度で施工**できる。

②S042が2.5kg、L220が5kgと、**軽いので1人での施工が可能。**

■ **ドイツのビルシュタイン社に製造委託**をしており、基準が厳しい車業界で世界トップシェアを誇るショックアブソーバーメーカーのブランディング。

L220のスチールパイプ部分は**日本有数のマフラーメーカー、藤壺技研に製造委託。**

**特許技術**により、他のどの制振装置よりも**速く効き、地震からあなたの家をいつまでも守ります。**



## Q：地震の揺れは、どの程度吸収できるのですか？

A：様々な実験の結果、理論上は阪神大震災クラスの大きな地震が発生した場合でも、**建物の変形を45~55%抑える※ことができると推定**しています。

他社が主張している「低減率0%」に関する読み解き方は直接勉強会等でご説明させていただいている通りです。

※振動台試験結果および建物毎の構造計算を利用した揺れ幅のシミュレーション結果より。建物の構造、形状により効果は異なります。

## Q：オイル漏れの心配は？

A：オイル漏れを皆無にすることは技術的に至難であることは事実です。

evoltz では**特殊樹脂シールを採用**(コストは高いが宇宙開発技術を応用したもの)しており、**保存期間が「半永久的」である(部材メーカーのカタログより)**。考えられる対策をコスト度外視で実施。**構造上も何重にもオイル漏れをしないよう処理が施されている。100万回の作動耐久の結果、初期とほぼ変化なく減衰力が発揮されることを確認**しています。

さらに、ダンパー完成後、半年間待ってから出荷させることで、**オイル漏れの可能性を極力低く**しています。その半年間の間にも**オイル漏れの確認を1本1本**行っている。

ちなみに他社製品では、ゴム製の自動車部品用のオイルシールが使用されている。寿命は6~10年。耐用年数が短い。

## Q：evoltzの耐久年数は？ メンテナンスは？

A：**耐久年数は60年。20年のオイル漏れ保証。メンテナンスフリー。吹付断熱対策済。**

## Q：evoltzの取り付け位置はどのように決めるのですか？

A：所定の図面をお送り頂き、その情報をもとに「**限界耐力計算**」を利用して「**最大効果**」「**最適配置**」となる**設置本数、配置箇所を根拠を持って算出**します。

**1棟1棟図面の詳細部分まで確認しながらどこにevoltzを配置するのが効率的か？を確認**しています。**重心と剛心を近づけて建物のねじれが起こりにくいように配置**をするよう心掛けています。

他社メーカーによっては建物の大きさによって配置計算もせず、本数を決め、配置位置を工務店側にお任せするようなこともあるようですが、そのようなことは絶対にはいたしません。

